

第8回 球磨川治水対策協議会 説明資料

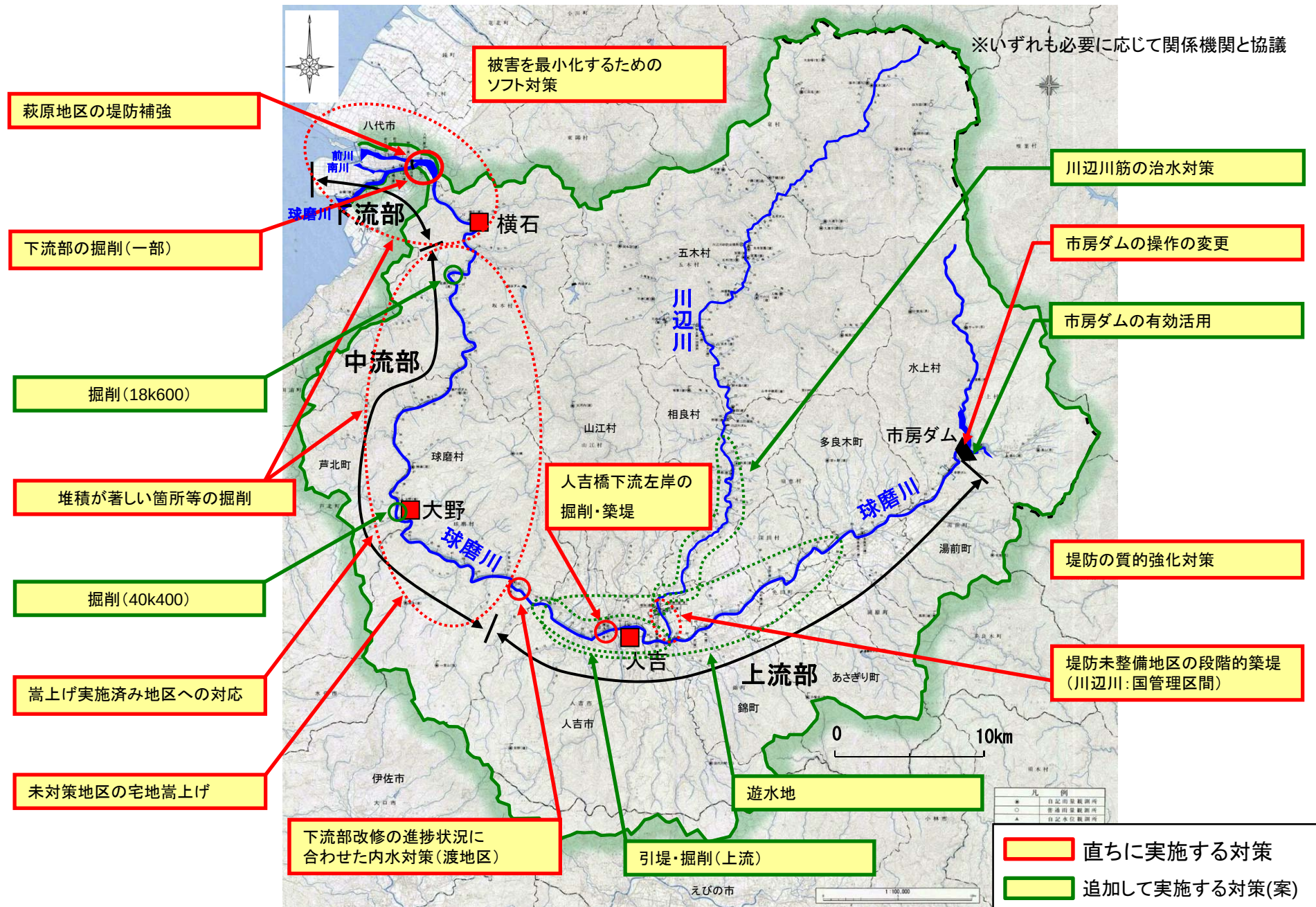
「検討する場」で積み上げた対策の進捗状況

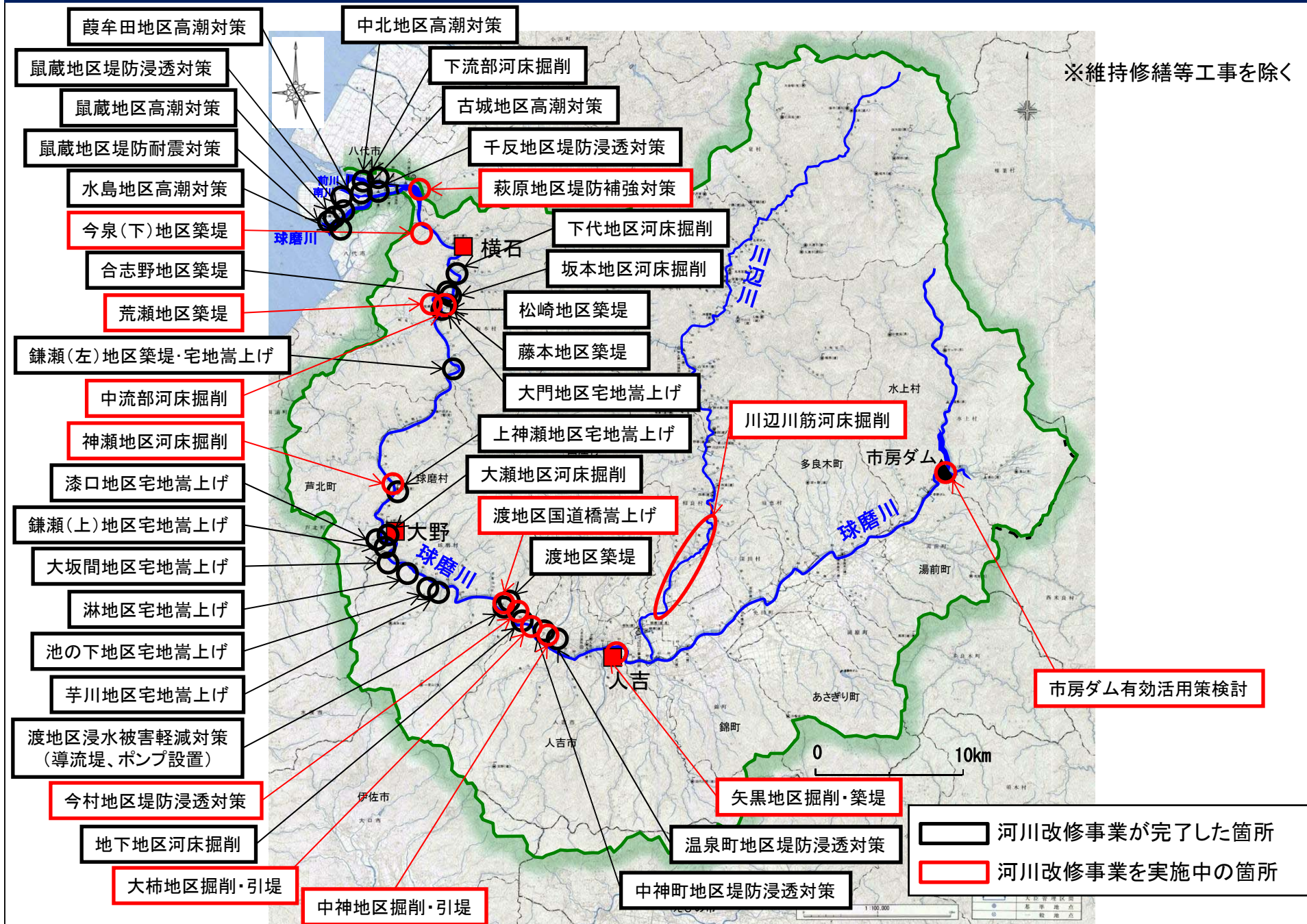
平成30年2月20日

国土交通省 九州地方整備局
熊 本 県

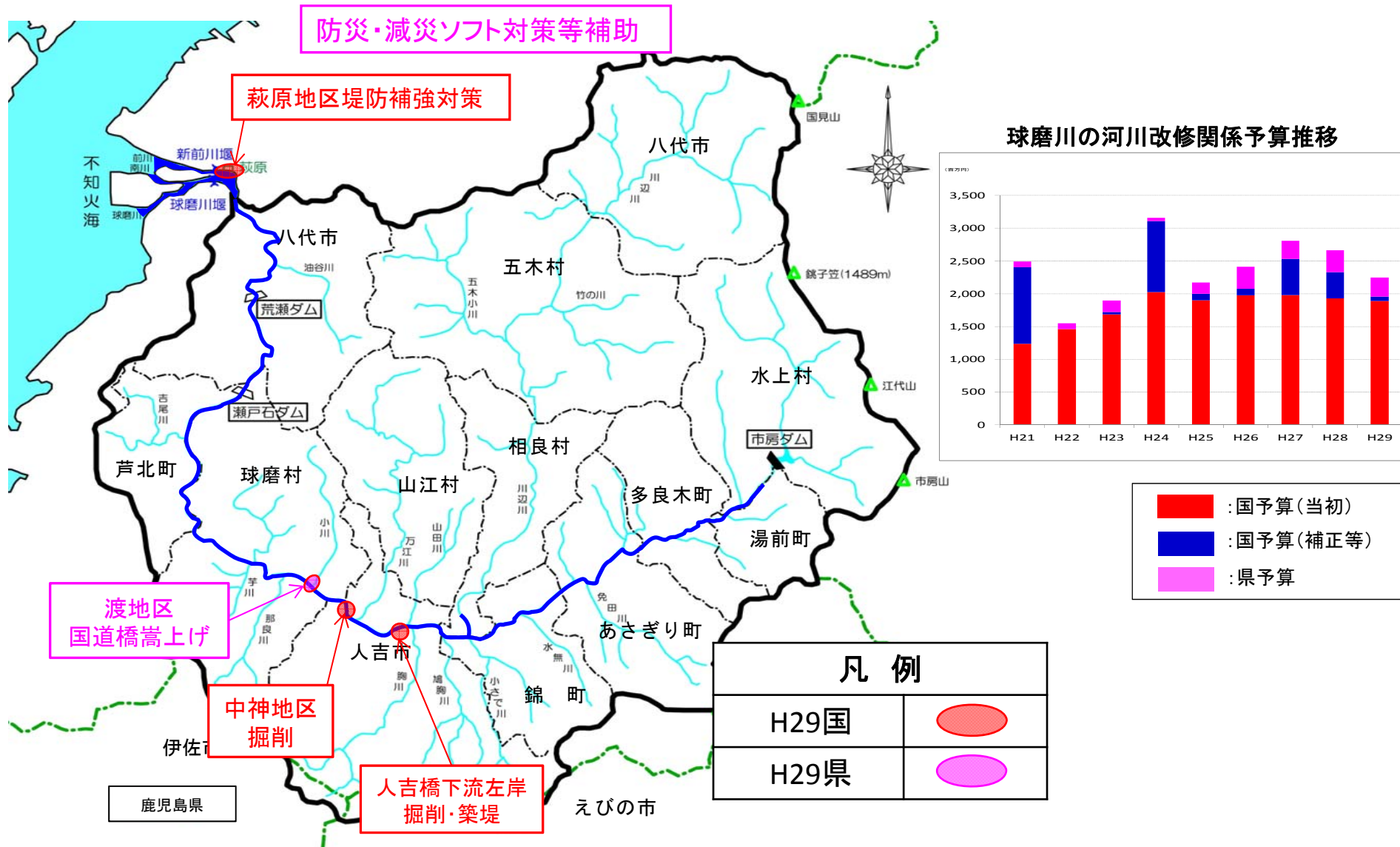
「直ちに実施する対策」及び「追加して実施する対策(案)」

1



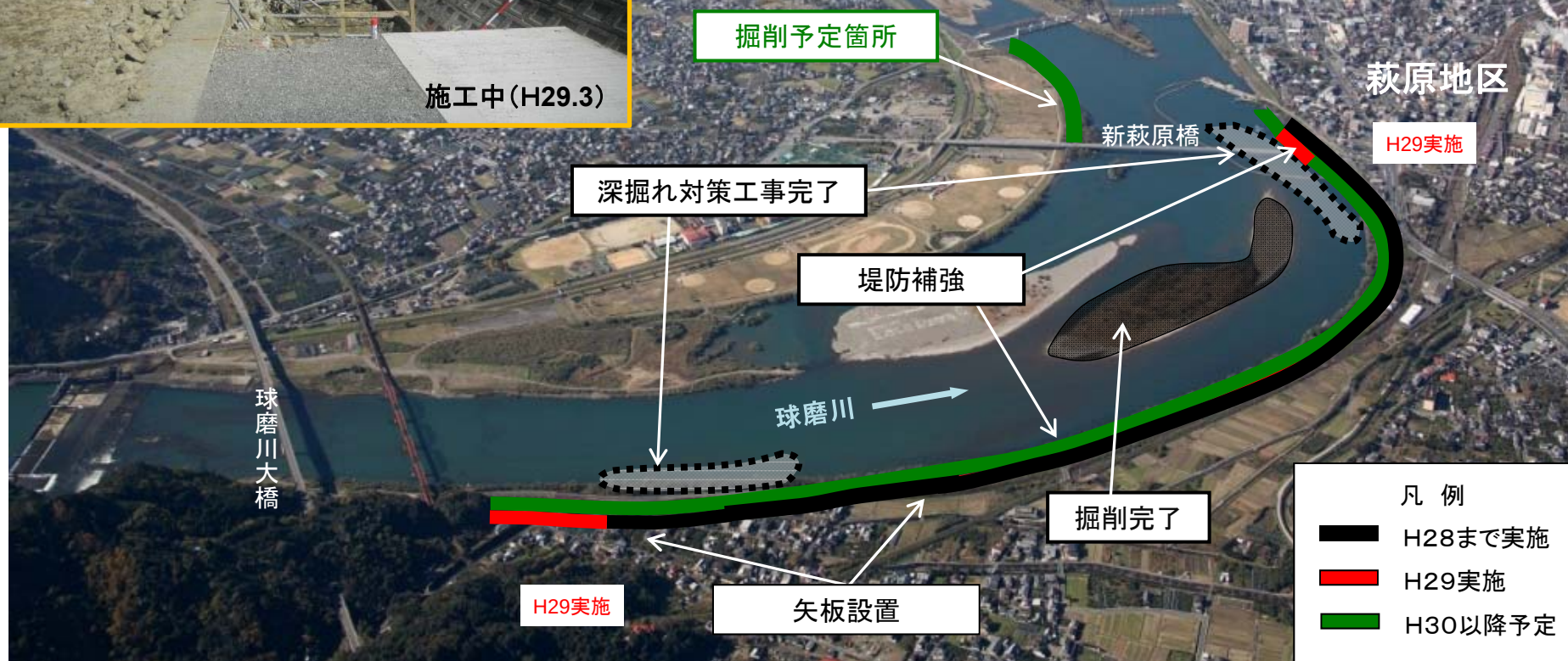
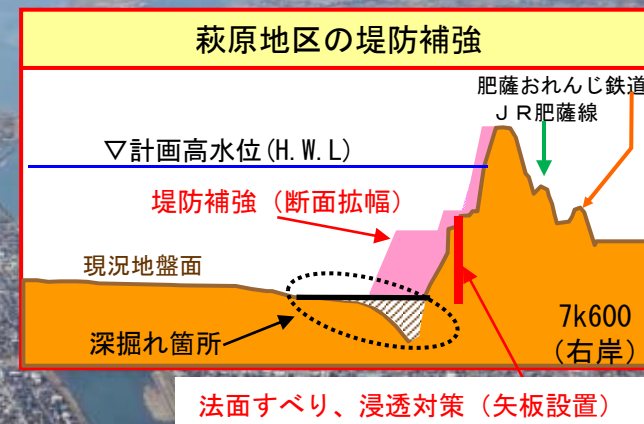


- 萩原地区において、堤体の安全性を段階的に向上させる対策として堤防補強等を継続実施
- 人吉市下流地区の掘削を継続実施するとともに、人吉市街部の堤防未整備区間の掘削・築堤に着手



「直ちに実施する対策」－ 萩原地区の堤防補強

○堤防断面が不足している箇所の堤防補強対策を平成23年度より実施中。



下流改修の進捗状況に合わせた内水対策(球磨村渡地区①)

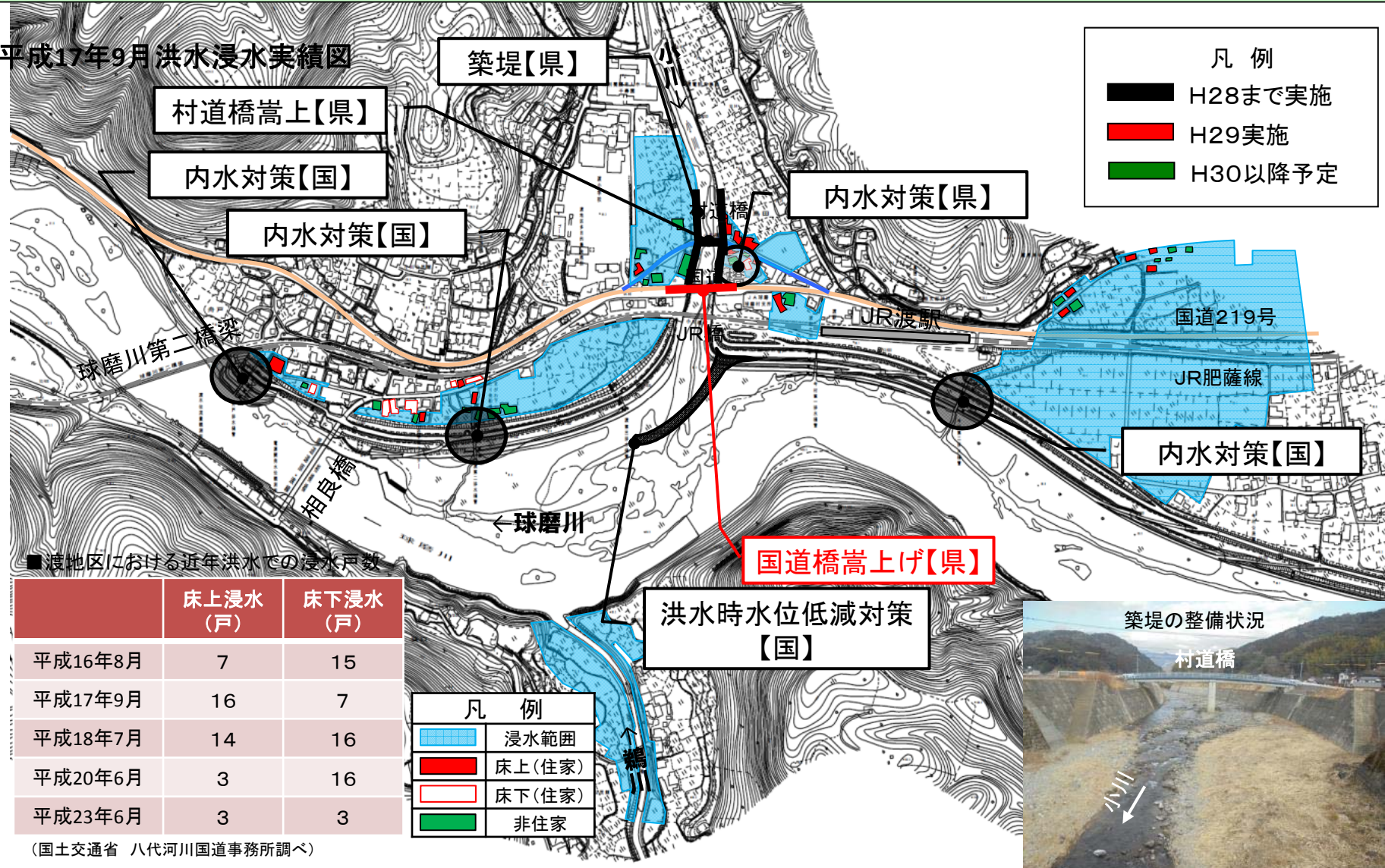
5

「直ちに実施する対策」ー 下流部改修の進捗状況に合わせた内水対策(渡地区)

○国・熊本県・球磨村の適切な役割分担の下、球磨村渡地区において総合的な内水対策を実施している。

○国施工の導流堤、可搬式ポンプは完了。県施工の村道橋嵩上げ、排水ポンプ、築堤が完了し、今年度、国道橋嵩上げに伴う、仮設橋梁工事(上部工)に着手。来年度の夏頃までに仮設道路へ切り替える予定。

平成17年9月洪水浸水実績図



(国土交通省 八代河川国道事務所調べ)

下流改修の進捗状況に合わせた内水対策(球磨村渡地区②)

6

凡 例

- H28まで実施
- H29実施
- H30以降予定

①村道橋嵩上【県】
<完了>

②築堤【県】
<完了>

①村道橋嵩上げおよび②築堤 施工前・後 写真

(※下流から上流を望む)

施工前(H18.2)



施工後(H28.3)



至:八代方面

至:人吉方面

国道219号

JR肥薩線

仮設橋梁工事(上部工)

③排水ポンプ【県】
<完了>

④国道橋嵩上げ【県】

洪水時水位低減対策【国】
<完了>

④国道橋 仮設橋梁工事 状況写真

撮影日: H30.1月中旬



④国道橋嵩上げ イメージ写真

(※上流から下流を望む)

※H29実施
= 仮設橋梁工事(上部工)等

撮影日: H30.1月中旬

至:人吉方面

至:八代方面

④国道219号 橋梁嵩上げ

現橋梁

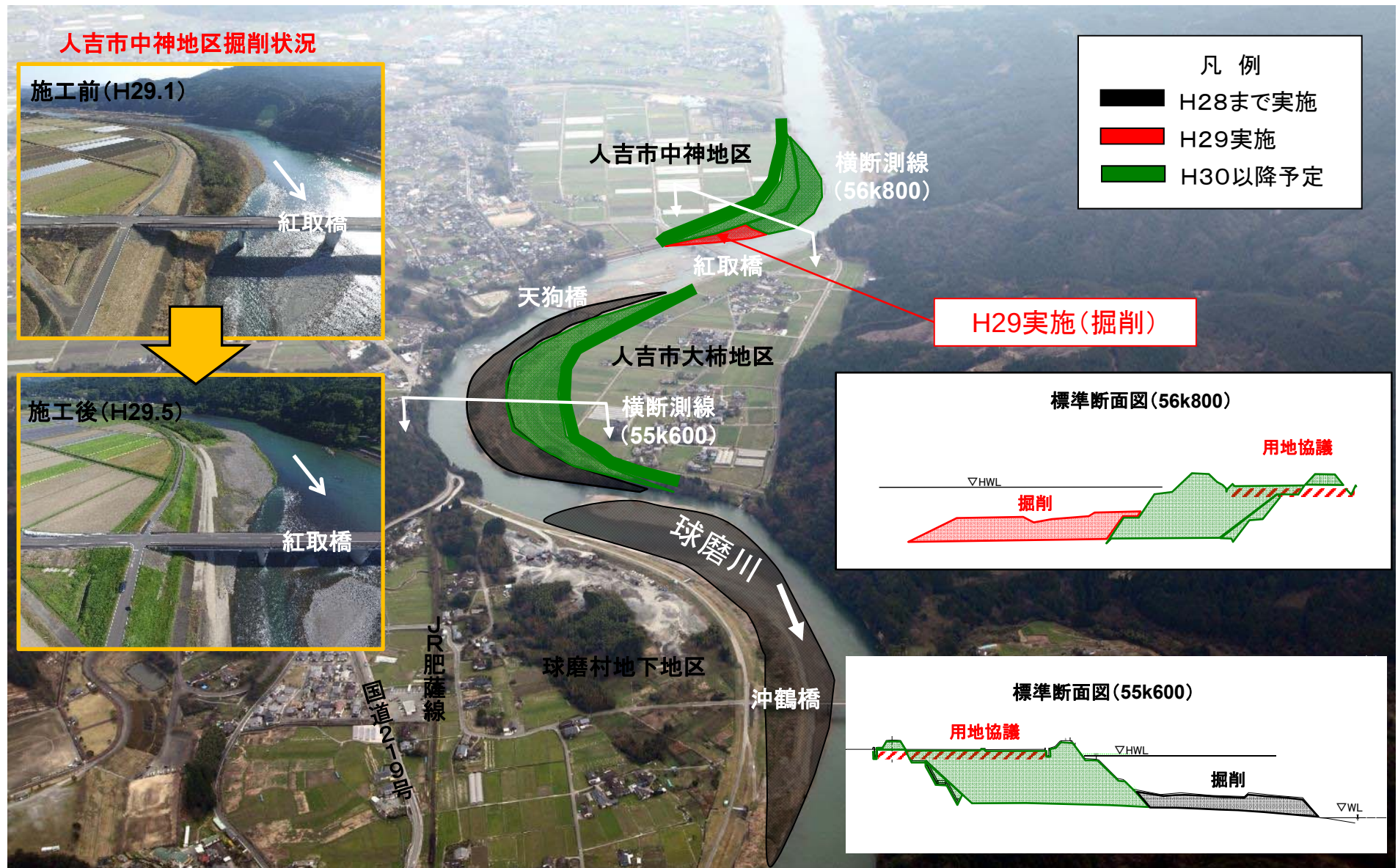


上流(人吉市周辺)の掘削・引堤

7

「追加して実施する対策」ー上流(人吉市周辺)の掘削・引堤

○人吉市域の大柿・中神地区における掘削・引堤に関し、用地交渉や工事用測量等を進めつつ、下流から順次掘削を実施中。



「直ちに実施する対策」一人吉橋下流左岸の掘削・築堤

○人吉市街部には、堤防未整備地区が存在し、河道整備が長年要望されてきた。平成28年5月に用地補償が締結され、平成29年度は掘削・築堤を行い、安全度の向上を図る。



○事業概要

「ダムによらない治水を検討する場」共通認識に基づき、熊本県として、球磨川水系の洪水から人命を守り、財産被害の最小化を図るため、河川整備等のハード対策の着実な推進に加え、流域市町村が行う防災・減災ソフト対策等に対して、補助金を交付するもの

《 期 間 》 平成27年度から（10年程度）

《 補助率 》 2／3

《 財 源 》 熊本県球磨川水系防災減災基金（総額10億円を積立予定）

《補助対象》 球磨川水系の水害対策に資する事業

《今年度予算》 157,039千円

平成29年度の実施状況

・145,258千円を交付決定済み。流域全12市町村で、地域の実情に応じ、各種事業に取り組まれている。

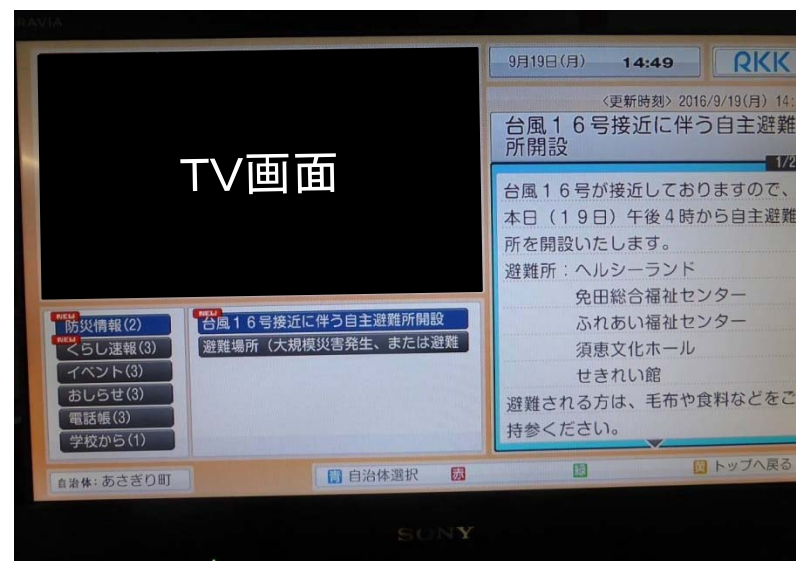
【主な取組】

予防的避難、データ放送行政情報表示事業、ハザードマップの作成
内水対策として実施する排水機能の確保、備蓄物資の購入 等

○予防的避難の実施

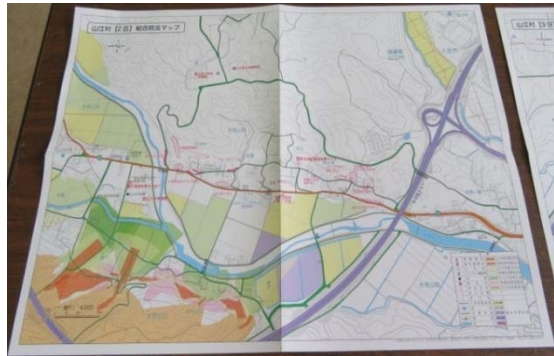


○データ放送行政情報表示事業



平成29年度の実施状況

○ハザードマップの作成



○内水対策（排水ポンプの設置）



○備蓄物資、水防資機材等の整備

備蓄倉庫



発電機



○ヘリポートの整備



非常食

